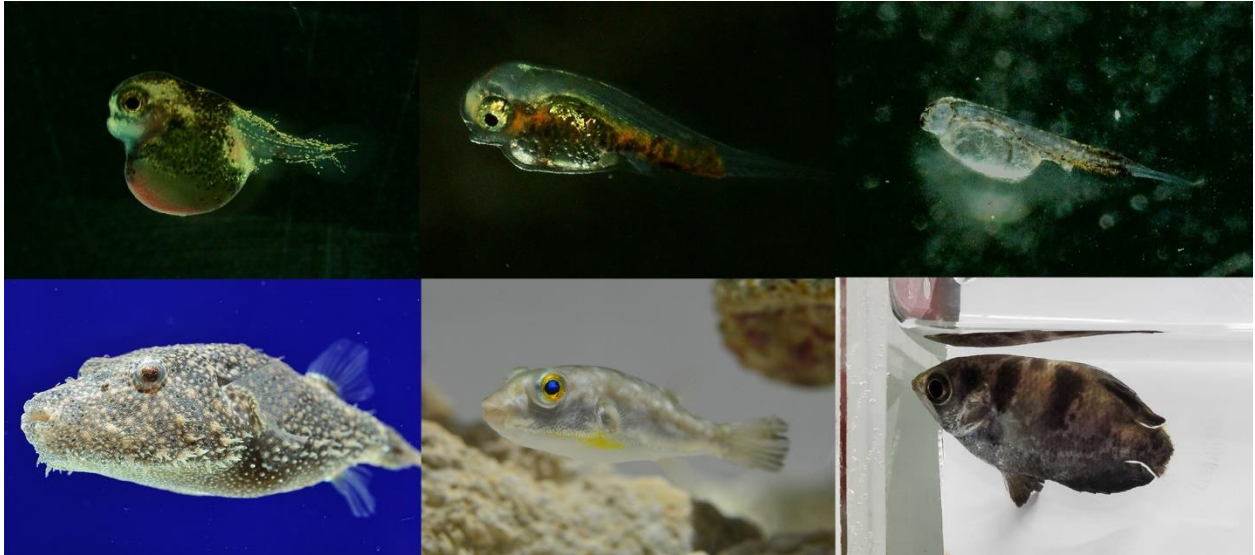


報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

テッポウウオやフグの仲間など 3 種類が「国内初繁殖」に認定。
～フグ博士の愛情と飼育担当者の観察力が繁殖につながりました～



パオ・バイレイ(左) オキナワフグ(中) テッポウウオ(右)
上:それぞれ生後0日齢 下:生後180日齢

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、「わざらにふれる」ゾーンにて展示中の 3 種類の魚類について、(公社)日本動物園水族館協会より 2023 年度の初繁殖認定を受けました。

今回初繁殖認定を受けたのは、フグの仲間・パオ・バイレイとオキナワフグ、テッポウウオ(スポットドアーチャーフィッシュ)です。いずれも 2022 年 3 月から 8 月にかけてニフレルで繁殖に成功しました。

繁殖に取り組んだのは、ニフレルのキュレーターでフグ博士こと土井啓行(水産学博士)と、5年間一緒に繁殖研究を進めてきた魚類担当キュレーターの百田和幸の2名です。ニフレルでは過去に 4 種類の魚類で初繁殖認定を受けており、その繁殖研究についてもこの2名が日々観察しながら共に取り組んできました。

ニフレルでは開業以来、生きものの種の保存のため繁殖に取り組んでおります。今回の 3 種を含む魚類 7 種が日本動物園水族館協会の初繁殖認定を受けています*。いずれの種類も生態に関する知見が少ないものばかりで、繁殖に関する基礎的研究は、種の保存の観点からも非常に重要です。ニフレルでは今後も謎の多い生きものたちの生態解明や生物多様性の保全に貢献していきたいと考えています。

※初繁殖認定を受けるには一定の条件があります。

【取材・撮影のご案内】

本展示に関する取材・撮影をご希望の方は、下記までご連絡ください。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【パオ・バイレイ、オキナワフグの繁殖について】

パオ・バイレイの赤ちゃんは歯が生えてくるとかみ合いが見られるようになりました。そこで十分な量のエサを毎日与え、かくれる場所を作り、かみ合いが無くなるようにすることで無事に育てることができました。オキナワフグの赤ちゃんは全長 2.3~2.6mm、とても小さな赤ちゃんです。それでも 1 か月後には約 10mm にすくすく成長してくれました。



フグの世話を続けて20年以上、愛情を沢山注ぎ、毎朝フグや魚の水槽を見回るフグ博士・土井キュレーター

【スポットテッドアーチャーフィッシュの繁殖について】

スポットテッドアーチャーフィッシュの赤ちゃんは目も透明で口もあいておらず、育成も全てが試行錯誤でした。ようやく育ってくれて、約4か月後に水鉄砲が見られた時には心が救われる思いでした。



バックヤードの循環ろ過システムの配管内を流れる水の中に、わずか 1mm 程度の小さな卵を発見し、繁殖を成功させた百田キュレーター

【今回初繁殖認定を受けた魚類について】 ※いずれも「わざになれる」ゾーンにて展示中

① パオ・バイレイ 学名: *Pao baileyi*

《生態》メコン川流域に生息する淡水のフグ。体表に皮弁をもつのが特徴。石や流木のそばで待ち伏せ型の捕食をする。

《繁殖日》2022年3月26日

《表彰対象個体数》25

《繁殖特性》約 3mm の沈性粘着卵を産出し、雄親が卵を保護する。卵は 10 日後にふ化し、ふ化仔魚はすでに眼が形成され開口していた。

《展示個体》全長 11 cm (1 匹)

② オキナワフグ 学名: *Chelonodontops patoca*

《生態》熱帯域に分布し、日本では琉球列島に生息する。

マングローブ域でみられることが多い。毒性が高く、食べると危険である。

《繁殖日》2022年8月2日

《表彰対象個体数》153

《繁殖特性》約 1mm の沈性粘着卵を産出し、親魚は卵保護を行わない。卵は 4 日後にふ化し、ふ化仔魚はすでに眼が形成され開口していた。

《展示個体》全長 11 cm (約 20 匹)

③ テッポウウオ(スポットテッドアーチャーフィッシュ) 学名: *Toxotes chatareus*

《生態》アジア・オセアニアの主にマングローブ域に生息し、水鉄砲により陸上生物を捕食する生態が知られる。

《繁殖日》2022年4月19日

《表彰対象個体数》12

《繁殖特性》約 0.7mm の分離浮性卵を産出し、親魚は卵保護を行わない。卵は 1 日でふ化し、ふ化仔魚は眼が無色で未開口。

《展示個体》全長 6 cm (約 10 匹)

【(公社)日本動物園水族館協会・初繁殖認定について】

日本動物園水族館協会では、飼育下での繁殖技術の向上と学術的な寄与を目的に、昭和40年より繁殖賞表彰を施行しました。しかし、近年魚類や無脊椎動物での申請が増え、従来の基準では審査が困難な事例も多いことから見直しを行ってきた結果、繁殖賞表彰を廃止し、2019年3月に新たに初繁殖認定を設け、2020年度から実施しており、今回は2023年度の認定です。

【ニフレルでの魚類の繁殖の取組み】

魚類の繁殖行動は非常に多彩で、わかっていない種類も数多くいます。一方で、水族館で魚を展示し続けるためには、飼育下で繁殖させることは非常に大切です。ニフレルでは淡水フグを中心に、魚類の繁殖研究や論文・学会発表など情報発信にも努めてまいります。

【休館日のご案内】

2024年1月24日(水)、25日(木)は設備等の点検のため、ニフレル及びEXPOCITYの各施設は一部を除き休館いたします。

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》



【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所 在 地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平 日 10:00~18:00

土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休 館 日】 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐 車 場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)

